

令和4年 第3回

いなべ市議会 定例会 報告

令和4年第3回定例会報告

報告番号	件名	備考
報告 第6号	令和3年度いなべ市健全化判断比率の報告について	
報告 第7号	令和3年度いなべ市水道事業会計資金不足比率の報告について	
報告 第8号	令和3年度いなべ市下水道事業会計資金不足比率の報告について	
報告 第9号	令和3年度一般財団法人ほくせいふれあい財団決算等の報告について	
報告 第10号	令和3年度一般社団法人グリーンクリエイティブいなべ決算等の報告について	
	以下余白	

報告第6号

令和3年度いなべ市健全化判断比率の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律(平成19年法律第94号)第3条第1項の規定により、令和3年度いなべ市健全化判断比率を別紙監査委員の意見を付けて議会に報告する。

令和4年8月31日提出

いなべ市長 日 沖 靖

令和3年度 いなべ市健全化判断比率

	令和3年度	早期健全化基準
① 実質赤字比率	— %	12.79 %
② 連結実質赤字比率	— %	17.79 %
③ 実質公債費比率	8.1 %	25.0 %
④ 将来負担比率	0.9 %	350.0 %

報告第7号

令和3年度いなべ市水道事業会計資金不足比率の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成19年法律第94号）第22条第1項の規定により、令和3年度いなべ市水道事業会計資金不足比率を別紙監査委員の意見を付けて議会に報告する。

令和4年8月31日提出

いなべ市長 日 沖 靖

令和3年度いなべ市水道事業会計資金不足比率

	令和3年度	経営健全化基準
資金不足比率	— %	20.0%

【算出式】

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額 } \blacktriangle 2,773,063 \text{ 千円} \cdots (A)}{\text{事業の規模 } 816,650 \text{ 千円} \cdots (B)} = \blacktriangle 339.6\%$$

$$\begin{aligned} (A) \text{ 資金の不足額} &= \text{流動負債額 } 512,340 \text{ 千円} - \text{控除企業債 } 318,431 \text{ 千円} \\ &\quad - \text{流動資産額 } 2,966,972 \text{ 千円} \\ &= \blacktriangle 2,773,063 \text{ 千円} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (B) \text{ 事業の規模} &= \text{営業収益 } 816,650 \text{ 千円} - \text{受託工事収益 } 0 \text{ 千円} \\ &= 816,650 \text{ 千円} \end{aligned}$$

※ 資金不足比率が0以下のため、資金不足は発生していない。

※ 資金不足比率が20%以上となった場合には、経営健全化計画を策定し、経営改善に取り組まなければならない。

※ 令和2年度いなべ市水道事業会計資金不足比率＝▲316.1%

報告第8号

令和3年度いなべ市下水道事業会計資金不足比率の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成19年法律第94号）第22条第1項の規定により、令和3年度いなべ市下水道事業会計資金不足比率を別紙監査委員の意見を付けて議会に報告する。

令和4年8月31日提出

いなべ市長 日 沖 靖

令和3年度いなべ市下水道事業会計資金不足比率

	令和3年度	経営健全化基準
資金不足比率	— %	20.0%

【算出式】

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額 } \blacktriangle 958,097 \text{ 千円} \cdots (\text{A})}{\text{事業の規模 } 505,020 \text{ 千円} \cdots (\text{B})} = \blacktriangle 189.7\%$$

$$\begin{aligned} (\text{A}) \text{ 資金の不足額} &= \text{流動負債額 } 1,129,618 \text{ 千円} - \text{控除企業債 } 912,973 \text{ 千円} \\ &\quad - \text{流動資産額 } 1,174,742 \text{ 千円} \\ &= \blacktriangle 958,097 \text{ 千円} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (\text{B}) \text{ 事業の規模} &= \text{営業収益 } 505,020 \text{ 千円} - \text{受託工事収益 } 0 \text{ 千円} \\ &= 505,020 \text{ 千円} \end{aligned}$$

※ 資金不足比率が0以下のため、資金不足は発生していない。

※ 資金不足比率が20%以上となった場合には、経営健全化計画を策定し、経営改善に取り組まなければならない。

※ 令和2年度いなべ市下水道事業会計資金不足比率＝▲165.4%

報告第9号

令和3年度一般財団法人ほくせいふれあい財団決算等の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により一般財団法人ほくせいふれあい財団の経営状況について、次のとおり報告する。

令和4年8月31日提出

いなべ市長 日 沖 靖

- 1 令和3年度事業状況報告書及び収支決算書
- 2 令和4年度事業計画書及び収支予算書

一般財団法人ほくせいふれあい財団

令和3年度事業状況報告書及び収支決算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

令和4年度事業計画書及び収支予算書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

令和3年度事業状況報告書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

令和3年度は、法改正による財団法人から一般財団法人に移行し9年目を、青川峡キャンピングパークは開設から19年目を、阿下喜温泉は指定管理者制度開始から12年目をそれぞれ迎えた。

1 キャンピングパーク事業部

事業収入は、172,328千円と前年対比で116%、入場者数は42,387人と前年対比107%でいずれも前年比増となった。

新型コロナウイルス感染の影響で減少した利用者も徐々に回復してきており、感染が再拡大した時期を除けば、来場者は昨年よりも増加している。

しかし、コロナ禍前と比べると、売上や入場者数は、いまだ回復途上といえる。

昨年好調であったソロ、デュオキャンプの利用は、前年対比120%となっており、1人又は2人での少人数での利用が、感染リスクも少ないことから大きな伸びを示した。

清掃スタッフは慢性的な人員不足であり、特に女性常勤パートの高齢化が課題となっている。若い世代に業務を引き継いでいく観点からも新しい人材確保が必要である。

施設面においては、開設から19年経過し設備や備品の老朽化が顕著となってきた。建物外部の手すりなど腐食の激しい箇所もあり、交換修理や再塗装など施設の維持管理が不可欠である。

公園管理事業として、いなべ市と締結した青川公園管理委託契約により、公園内の遊具の保守管理や点検、修繕などを実施した。

2 阿下喜温泉事業部

事業収入は、54,670千円と前年対比で106%、入浴者数は95,495人と前年対比108%であった。

上半期の入浴者数は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言のため、臨時休館を余儀なくされた昨年と比較し132%と大きく伸びた。また、ゴールデンウィーク後から6月20日までまん延防止等重点措置が発令された影響もあり集客減となっていたが、解除後はキャンプ、登山客及びにぎわいの森等利用者の来客で集客増となった。

下半期の入浴者数は、前年対比で92%となった。新型コロナウイルス感染症第5波(8/27から9/30までの緊急事態宣言)、第6波(1/21から3/6までのまん延防止等重点措置)の影響に加え、感染予防対策のため実施している20時までの時短営業を継続したことも集客減の要因となった。

市内イベントの「あげきのおひなさん」が規模を縮小しての開催、「梅まつり」「ボタンまつり」「T O J」「三岐鉄道ウォーキング」等が中止され、その影響を受けて集客減となった。

また、当温泉イベントは、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底した上で計画どおり実施することができ、特に11月14日には開業16年目で来場者200万人達成となり、前後者を含め記念品を贈呈した。

売上については、平日当日券が前年対比94%、土日当日券が同109%となり、コロナ禍の影響からキャンプ、登山などのアウトドア活動後の集客で売上増となり、また回数券の売上げも前年対比105%となり、風呂の日（毎月26日）の販売を中心に好調であった。

(1) 入浴促進とサービス向上

ア 西美濃御湯印めぐり

西美濃地域の10施設の温泉に入浴し、御湯印札を集める。

イ ポイントカードと抽選会の実施

ウ 館内イベントの開催

(2) あじさいの店

いなべ製品の販売や新商品の開発を通じて地域の活性化を図っている。

(3) 青川峡キャンピングパーク優待券

7,363名に利用いただき、前年対比129%となった。

(4) 北勢線セット券

阿下喜温泉往復割引券の購入者は、前年対比97%となりコロナ禍による緊急事態宣言、まん延防止等措置により伸び悩んだ。

(5) 健康増進事業

ア トレーニングルームの利用促進

イ 体験ホールの活用

元気づくり体験、ラフイーラ健康体操、サッカー教室、バレトン教室などと連携し健康増進の機会創出につなげた。

(6) 地域活性化

ア 古本市

地域住民が毎週水・土・日に開催し好評を得て定着している。

イ みたらし団子販売

地産地消の取組として、いなべ市産米で作ったみたらし団子を玄関前で販売。リピーター客もあり定着している。

(7) 施設関連工事、修繕等

ヒートポンプ6台更新、休憩棟雨漏り修繕、休憩棟ロールカーテン更新を行った。

令和3年度収支決算書
正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(合 算)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	282,887	282,887	0
基本財産受取利息(注1)	282,887	282,887	0
②事業収益	273,855,999	247,102,170	26,753,829
指定管理料収入	47,300,000	47,300,000	0
温泉利用料収入	44,220,340	42,396,340	1,824,000
施設利用料収入	32,676,567	30,740,399	1,936,168
トレーニング利用料収入	878,100	880,300	△ 2,200
オートキャンプ収入	34,328,911	29,078,325	5,250,586
かもしかキャンプフィールド収入	3,183,500	2,060,950	1,122,550
コテージ等収入	76,252,410	63,061,326	13,191,084
炭火焼ハウス収入	1,649,850	2,018,600	△ 368,750
売店収入	20,046,282	18,664,206	1,382,076
あじさいの店収入	2,595,925	2,539,118	56,807
レンタル収入	4,546,250	3,641,200	905,050
キャンセル料収入	3,410,161	2,326,100	1,084,061
その他の収入	2,767,703	2,395,306	372,397
③雑収入	4,142,211	7,238,831	△ 3,096,620
受取利息	1,211	1,065	146
雑収入	4,141,000	7,237,766	△ 3,096,766
経常収益計	278,281,097	254,623,888	23,657,209

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(2) 経常費用			
①事業費	231,106,613	241,483,399	△ 10,376,786
事業原価	10,162,584	12,588,923	△ 2,426,339
期首棚卸高	7,290,466	9,585,422	△ 2,294,956
売店仕入	11,455,007	10,024,499	1,430,508
あじさいの店仕入	507,244	269,468	237,776
期末棚卸高	△ 9,090,133	△ 7,290,466	△ 1,799,667
役員報酬	2,573,500	2,570,000	3,500
給与手当	73,518,257	76,907,363	△ 3,389,106
臨時雇賃金	3,676,754	3,547,060	129,694
退職金	80,000	110,000	△ 30,000
法定福利費	8,768,089	8,737,982	30,107
福利厚生費	5,021,633	4,992,550	29,083
旅費交通費	56,791	47,300	9,491
通信運搬費	2,017,576	1,954,984	62,592
諸謝費	42,521	15,760	26,761
減価償却費	12,451,512	14,447,345	△ 1,995,833
賃借料	4,210,991	3,911,591	299,400
保険料	630,120	379,532	250,588
修繕費	3,238,466	7,099,210	△ 3,860,744
水道光熱費	23,381,861	24,481,722	△ 1,099,861
消耗品費	17,465,429	19,610,005	△ 2,144,576
租税公課	11,811,148	10,093,223	1,717,925

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
負 担 金	56,250	206,250	△ 150,000
印 刷 製 本 費	1,616,723	768,995	847,728
広 告 宣 伝 費	2,301,189	2,260,316	40,873
支 払 手 数 料	2,601,058	1,703,537	897,521
諸 会 費	83,475	97,175	△ 13,700
新 聞 函 書 費	128,705	282,748	△ 154,043
車 両 費	1,318,645	2,222,470	△ 903,825
委 託 費	43,537,569	41,296,585	2,240,984
イ ベ ン ト 費	355,767	1,150,773	△ 795,006
②管 理 費	1,050,506	1,106,086	△ 55,580
役 員 報 酬	573,500	570,000	3,500
給 与 手 当	174,782	177,848	△ 3,066
法 定 福 利 費	24,469	24,898	△ 429
福 利 厚 生 費	12,388	11,808	580
通 信 運 搬 費	8,437	7,992	445
水 道 光 熱 費	43,630	41,439	2,191
租 税 公 課	22,975	22,976	△ 1
負 担 金	18,750	68,750	△ 50,000
支 払 手 数 料	275	275	0
委 託 費	171,300	180,100	△ 8,800
経 常 費 用 計	232,157,119	242,589,485	△ 10,432,366
当 期 経 常 増 減 額	46,123,978	12,034,403	34,089,575
2 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用			
固 定 資 産 除 却 損	7,631,833	607,323	7,024,510
経 常 外 費 用 計	7,631,833	607,323	7,024,510
当 期 経 常 外 増 減 額	△ 7,631,833	△ 607,323	△ 7,024,510
税引前当期一般正味財産増減額	38,492,145	11,427,080	27,065,065
法人税、住民税及び事業税	13,387,000	4,072,000	9,315,000
当期一般正味財産増減額	25,105,145	7,355,080	17,750,065
一般正味財産期首残高	200,650,707	193,295,627	7,355,080
一般正味財産期末残高	225,755,852	200,650,707	25,105,145
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正 味 財 産 期 末 残 高	225,755,852	200,650,707	25,105,145

(注1) 基本財産受取利息

	当 年 度	前 年 度
受 取 利 息	300,000	300,000
償却原価法による償却費	△ 17,113	△ 17,113
	282,887	282,887

財 産 目 録
令和4年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
資 産 の 部			
流動資産			
現金（現金手許有高）	5,603,715		
預金	106,968,933		
普通預金／三十三銀行 阿下喜支店	98,253,666		
普通預金／百五銀行 阿下喜出張所	2,867,006		
普通預金／桑名三重信用金庫 阿下喜支店	130,757		
振替口座／ゆうちょ銀行 名古屋貯金事務センター	5,556,582		
普通貯金／三重北農業協同組合 阿下喜支店	160,922		
未収入金（施設利用料 他）	8,159,738		
棚卸資産（売店商品 他）	9,858,694		
前払費用（飲食店営業許可会費 他）	9,950		
仮払金（年末調整未控除額 他）	280,431		
流動資産合計		130,881,461	
固定資産			
基本財産			
投資有価証券（第334回利付国債）	50,037,082		
基本財産合計	50,037,082		
その他固定資産			
建物（炭焼棟 他）	6,117,115		
建物附属設備（電気工事 他）	16,007,146		
構築物（植栽工事 他）	16,483,181		
機械装置（ヒートポンプ 他）	26,309,517		
車両運搬具（ハイゼットダンプ 他）	791,051		
工具器具備品（監視カメラ 他）	5,424,771		
ソフトウェア（予約システム）	442,750		
電話加入権	20,000		
長期前払費用（炊事棟負担金 他）	2,288,840		
その他固定資産合計	73,884,371		
固定資産合計		123,921,453	
資産合計			254,802,914
負 債 の 部			
流動負債			
未払金（未払給与 他）	10,161,816		
預り金（従業員源泉所得税 他）	1,264,146		
未払法人税等（当期確定額）	13,387,000		
未払消費税等（当期確定額）	4,234,100		
流動負債合計		29,047,062	
負債合計			29,047,062
正味財産合計			225,755,852

令和4年度事業計画書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

青川峡キャンピングパークは開設から20年目を、阿下喜温泉は開館17年目を迎える。施設をとりまく環境や社会情勢は大きく変わりつつあり、その中で設立の意義を忘れず、かつ、今後も存続意義のもてる事業活動を見つめ直し、事業を推進する。

昨年からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、長期及び複数回にわたる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により運営にも大きな影響を受けた。今年度もまだまだ終息が見えない中ではあるが、感染予防対策を徹底しながら、継続的な運営に取り組んでいく。

1 青川峡キャンピングパーク事業部

屋外のレジャーが人気を集め、折りからのキャンプブームの影響もありキャンプ業界に相次いで異業種が参入し、青川峡キャンピングパーク開業以来の変革期を迎えている。

今年度は、新たにリニューアルする「宇賀溪キャンプ場」、また昨年オープンした「やまてらす」と共に、アウトドアの街として注目が集まる機会として捉え、新しい施設との相乗効果が生まれるように一層のPRの機会として更なるサービスの充実と、顧客満足度の向上を目指し運営に取り組む。

【運営の柱】

- (1) 新型コロナウイルス感染症の感染リスクの少ない持続的な運営の実施
- (2) 老朽化施設、設備の更新と修理
- (3) 人員不足の解消、在職員のスキルアップ
- (4) 河川環境の維持
- (5) いなべ市、三重県及び市内施設との連携
- (6) オリジナル、オンリーワンの追求
- (7) PRと集客
- (8) 青川ブランドの確立と伝統づくりの推進
- (9) 運営計画の作成及び長期整備の実施

2 阿下喜温泉事業部

開館から17年目を迎え、当財団が平成22年度から指定管理者制度に基づき施設運営を実施してきたが、いなべ市の施設運営方針の変更に伴い、阿下喜温泉の運営から撤退することとなる。今後、いなべ市による施設の改修工事、新運営事業者スムーズな事業継承ができるよう連携を密にし

て移行に取り組む。

同時に、改修工事期間の休業に関し、利用者への対応、今まで当施設の業務に関わりいただいた方々、従業員等の今後のことについて万全の対策を講じるとともに、引き続き利用者の皆様が安心安全にご利用いただけるよう施設の維持管理を継続し、利用客の確保と健康増進を第一に運営を行う。

今年度も、「湯・食・買い物」に自信をもって提供できる阿下喜温泉として、またお客様が集まるいなべ市の観光スポットの一つとして、安心安全を第一に「また来たい」と思われるような温泉を目指して、スタッフ一同心一つに力を合わせ運営に当たる。

【運営の柱】

- (1) リピーターの確保及び地元客の掘り起こし
- (2) あじさいの店の運営
- (3) レストランの運営
- (4) 体験ホールの有効利用
- (5) 元気クラブいなべとの連携強化
- (6) 健康福祉の増進
- (7) イベント事業の実施と連携強化
- (8) 従業員の資質向上
- (9) 施設維持管理

令和4年度 一般財団法人 ほくせいふれあい財団収支予算書

総括表

(単位 千円)

科 目	本年度	前年度	比 較	前年度比
I 収入の部				
キャンプパーク事業部	149,000	131,110	17,890	114%
温泉事業部	116,000	120,200	△ 4,200	97%
収入合計 (A)	265,000	251,310	13,690	105%
前年度繰越収支差額	360	1,900	△ 1,540	19%
収入合計 (B)	265,360	253,210	12,150	105%

科 目	本年度	前年度	比 較	前年度比
II 支出の部				
キャンプパーク事業部	140,800	130,750	10,050	108%
温泉事業部	109,000	120,200	△ 11,200	91%
支出合計 (C)	249,800	250,950	△ 1,150	100%
本年度収支差額 (A) - (C)	15,200	360	14,840	4222%

令和4年度 キャンピングパーク事業部 収入予算明細書

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	前年度比
I 収入の部				
1 事業収入				
施設利用収入	27,500	24,000	3,500	115%
オートキャンプ収入	29,000	25,500	3,500	114%
コテージ収入	17,600	16,000	1,600	110%
アイランドコテージ収入	18,000	16,300	1,700	110%
ログハウス収入	6,000	5,250	750	114%
ログキャビン収入	6,500	5,600	900	116%
トレーラーキャビン収入	2,600	2,250	350	116%
CABIN'Gサイト収入	13,800	12,000	1,800	115%
かもしかCF収入	3,600	3,200	400	113%
炭火焼ハウス収入	2,500	3,500	△ 1,000	71%
売店収入	15,000	12,800	2,200	117%
レンタル収入	3,500	3,000	500	117%
イベント収入	600	500	100	120%
キャンセル料収入	2,000	600	1,400	333%
その他収入	490	300	190	163%
計	148,690	130,800	17,890	114%
2 基本財産運用収入				
利息収入（国債）	300	300	0	100%
計	300	300	0	100%
3 雑収入				
受取利息	1	1	0	100%
雑収入	9	9	0	100%
計	10	10	0	100%
当期収入合計（A）	149,000	131,110	17,890	114%
前期繰越収支差額	360	1,900	△ 1,540	
収入合計（B）	149,360	133,010	16,350	112%

令和4年度 キャンピングパーク事業部 支出予算明細書

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	前年度比
Ⅱ 支出の部				
1 事業費				
事業原価				
仕入高	12,000	11,200	800	107%
計	12,000	11,200	800	107%
2 管理費				
人件費				
役員報酬	2,250	1,500	750	150%
給与手当	58,000	56,000	2,000	104%
退職手当引当金	300	300	0	100%
法定福利費	5,500	5,100	400	108%
福利厚生費	2,500	2,350	150	106%
臨時雇賃金	5,000	5,700	△ 700	88%
人件費計	73,550	70,950	2,600	104%
経費				
旅費交通費	300	400	△ 100	75%
通信運搬費	1,400	1,300	100	108%
諸謝費	100	50	50	200%
保険料	700	650	50	108%
水道光熱費	8,900	8,600	300	103%
消耗品費	8,750	7,600	1,150	115%
租税公課	6,400	5,700	700	112%
負担金	400	400	0	100%
印刷製本費	1,000	800	200	125%
広告宣伝費	1,600	1,400	200	114%
支払手数料	2,200	2,000	200	110%
諸会費	100	100	0	100%
新聞図書費	100	100	0	100%
車両関連費	900	800	100	113%
委託費	11,000	10,400	600	106%
イベント費	1,000	1,000	0	100%
修繕費	1,000	1,000	0	100%
賃借料	1,600	1,500	100	107%
経費計	47,450	43,800	3,650	108%
計	121,000	114,750	6,250	105%
3 固定資産取得支出				
その他の固定資産				
建物附属設備	2,000	1,000	1,000	200%
構築物	2,000	1,000	1,000	200%
工具器具備品	1,000	1,500	△ 500	67%
ソフトウェア	300	300	0	100%
車両	500	500	0	100%
計	5,800	4,300	1,500	135%
4 予備費				
予備費	2,000	500	1,500	400%
計	2,000	500	1,500	400%
当期支出合計 (C)	140,800	130,750	10,050	108%
当期収支差額 (A) - (C)	8,200	360	7,840	-

令和4年度 阿下喜温泉事業部 収入予算明細書

(単位 千円)

科 目	本年度	前年度	比 較	前年度比
I 収入の部				
1 指定管理料	47,300	47,300	0	100%
計	47,300	47,300	0	100%
2 温泉利用料	48,300	52,000	△ 3,700	93%
計	48,300	52,000	△ 3,700	93%
3 トレーニング利用料	900	900	0	100%
計	900	900	0	100%
4 施設利用料収入				
マッサージ師	1,124	1,000	124	112%
マッサージ機	217	290	△ 73	75%
ラフィーラ	1,659	1,600	59	104%
計	3,000	2,890	110	104%
5 売店収入				
あじさいの店 委託販売収入	13,200	13,400	△ 200	99%
あじさいの店 自主販売収入	600	400	200	150%
あじさいの店 雑収入	100	100	0	100%
あじさいの店 計	13,900	13,900	0	100%
販売品(タオル・髭剃り他)	950	800	150	119%
自販機手数料	800	700	100	114%
販売品・自販機 計	1,750	1,500	250	117%
計	15,650	15,400	250	102%
6 その他収入				
公衆電話使用料	2	2	0	100%
光熱費収入 (レストラン)	300	600	△ 300	50%
テナント料 (レストラン)	0	600	△ 600	0%
展示品販売手数料	247	207	40	119%
施設使用料 (体験ホール)	300	300	0	100%
計	849	1,709	△ 860	50%
7 雑収入				
受取利息	1	1	0	100%
計	1	1	0	100%
当期収入合計 (A)	116,000	120,200	△ 4,200	97%
前年度繰越収支差額	0	0	0	100%
収入合計 (B)	116,000	120,200	△ 4,200	97%

令和4年度 阿下喜温泉事業部 支出予算明細書

(単位 千円)

科 目	本年度	前年度	比 較	前年度比
Ⅱ 支出の部				
1 事業費				
事業原価				
あじさいの店委託販売原価	12,750	15,300	△ 2,550	83%
あじさいの店自主販売原価	700	700	0	100%
あじさいの店 計	13,450	16,000	△ 2,550	84%
物販品仕入高	1,070	1,070	0	100%
物販品 計	1,070	1,070	0	100%
計	14,520	17,070	△ 2,550	85%
2 管理費				
人件費				
役員報酬	5,000	1,400	3,600	357%
給与手当	16,600	15,930	670	104%
退職金引当金	1,000	100	900	1000%
法定福利費	2,500	1,450	1,050	172%
福利厚生費	1,600	1,500	100	107%
人件費 計	26,700	20,380	6,320	131%
経費				
旅費交通費	100	100	0	100%
通信運搬費	390	390	0	100%
諸謝費	50	50	0	100%
水道光熱費	18,000	17,840	160	101%
消耗品費	4,000	5,600	△ 1,600	71%
租税公課	1,100	1,100	0	100%
印刷製本費	300	920	△ 620	33%
広告宣伝費	100	1,260	△ 1,160	8%
支払手数料	90	90	0	100%
新聞図書費	100	250	△ 150	40%
車両費	160	160	0	100%
委託費	31,990	31,990	0	100%
イベント費	450	740	△ 290	61%
修繕費	5,000	13,494	△ 8,494	37%
賃借料	2,000	2,266	△ 266	88%
経費 計	63,830	76,250	△ 12,420	84%
計	90,530	96,630	△ 6,100	94%
3 固定資産取得支出				
その他の固定資産				
建物付属設備	500	2,000	△ 1,500	25%
構築物	1,000	2,500	△ 1,500	40%
工具器具備品	400	1,000	△ 600	40%
車両	50	1,000	△ 950	5%
計	1,950	6,500	△ 4,550	30%
4 財政調整基金				
財政調整基金	0	0	0	100%
計	0	0	0	100%
5 予備費				
予備費	2,000	0	2,000	2000%
計	2,000	0	2,000	2000%
当期支出合計 (C)	109,000	120,200	△ 11,200	91%
当期収支差額 (A) - (C)	7,000	0	7,000	-

報告第10号

令和3年度一般社団法人グリーンクリエイティブいなべ決算等の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により一般社団法人グリーンクリエイティブいなべの経営状況について、次のとおり報告する。

令和4年8月31日提出

いなべ市長 日 沖 靖

- 1 令和3年度事業状況報告書及び収支決算書
- 2 令和4年度事業計画書及び収支予算書

一般社団法人グリーンクリエイティブいなべ

令和3年度事業状況報告書及び収支決算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

令和4年度事業計画書及び収支予算書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

令和3年度事業状況報告書
令和3年4月1日～令和4年3月31日

いなべ市のまちづくり理念「グリーンクリエイティブいなべ」を推進することで、新たなまちの価値や魅力を創造すると共に、都市部から地方への新たな人の流れを生み出し、地域の活性化に寄与することを目的に、以下の事業を実施しました。

1 ファシリティマネジメント事業

にぎわいの森を含む庁舎周辺施設の環境整備を行うと共に、地域連携を前提としたイベントの開催や情報発信など、施設の価値向上に寄与しました。

(1) 庁舎周辺管理業務

ア 管理業務

にぎわいの森等植栽管理、清掃管理、シビックコア棟管理、施設の環境整備等
修繕・安全管理等

パラソル等備品の安全確認

雨樋清掃

豪雨・積雪時の施設内整備

蜂の巣、蛇等の除去

散水ホース修繕

各種看板設置

イ マネジメント業務

(ア) 施設利活用の促進

ZUTTO Hula for Life

祭のカプロジェクト

図書館まつり

いなこねマルシェ

いなべフードフェスタ

(イ) 利用相談及び調整

食品配布

SDGs ワークショップ

絵本読み聞かせライブ

草花の配布

選挙準備

認知症展示

キモトダリア園 PR

いなべ市観光協会展示

(2) にぎわいの創出

ア 日曜マルシェの開催

- (ア) 開催 40 回
- (イ) 参加店舗数 188 店 (市内 111 店、市外 77 店)
- (ウ) 売上総額 2,703,245 円

イ 体験型ワークショップの開催 () 内の数字は、参加者数

- (ア) 薪割り体験 (50 人)
- (イ) INABE SDGs 4T PROJECT (300 人)
- (ウ) 梅シロップ作り体験 (58 人)
- (エ) 絵本読み聞かせライブ (120 人)
- (オ) 水出し茶体験 (7 人)
- (カ) 炭オブジェ作り体験 (22 人)
- (キ) オリジナルバッグ作り (65 人)
- (ク) ポニーのふれあい体験 (300 人)
- (ケ) かご作り体験 (30 人)

ウ 地域連携型イベントの開催

- (ア) 食品募集と配布
- (イ) フラダンスショー
- (ウ) 草花の配布
- (エ) フライイベント ZUTTO
- (オ) 祭のカプロジェクト
- (カ) 図書館まつり
- (キ) いなこねマルシェ
- (ク) 桑名弦楽合奏団演奏会
- (ケ) inabe フードフェスタ
- (コ) クリスマスイベント

(3) inabe' s shop 及び情報発信コーナー「31 スタジオ」の運営

ア 地域商材の紹介と販売 店頭売上 6,584,180 円、取引事業者 50 者

イ いなべ市消防団応援チケットの契約

ウ 市内の情報収集及び発信

(4) 施設の経済波及効果測定

2020 年度三重県内経済波及効果 3.14 億円 (うち、粗付加価値誘発額 1.80 億円)

雇用創出効果は、雇用者所得誘発額 0.74 億円、雇用者誘発数 31 人

(参考) いなべ市観光入込客数 () 内の数字は、にぎわいの森観光入込客数

2018 年 379,227 人

2019 年 788,553 人 (345,999 人) ※5 月にぎわいの森開業

2020 年 711,610 人 (363,740 人)

2 地域商社事業

モノだけでなくヒト、コト、トキを含めた地域資源をつなぎ、地域の稼ぐ力の掘り起こしを行いました。

(1) 地域回遊イベント・企画の実施

ア いなべ縦断スタンプラリー

稼働日数 182 日間、台紙配布枚数 602 枚、応募数 260 件、景品総額 378,400 円

景品提供者数 16 社、メディア掲載 いなべ FM、音声配信メディア ANCHOR

イ はっぱでお買い物

実施日 雨の日の土日祝日

対象 未就学児、参加店舗 4 店舗

(2) 着地型ツアー企画の実施

Eat with nature /いなべの自然とともに食す

参加人数 12 名、参加費 15,000 円

(3) 地域資源を活かした商品開発、販路開拓

ア 商品開発

(ア) おちやのぶさんのかりんとう

販売数 11,411 個

販売場所 市内 7 か所、市外 3 か所、駅伝記念品（オリジナルバッグ付）として採用

(イ) 魔法のぱんと滋賀県立八日市南高校農業科の連携事業

たまごサラダぱん、クリームぱん、プリン

(ウ) 地域のしめなわづくりをする方と一般社団法人リッチェフラワースマイルズジャパンの連携事業

ふるさと納税返礼品 15,000 円、10 セット完売

イ 販路開拓

(ア) 桑名のマルシェでいなべの野菜販売 約 40,000 円（全 5 回）

(イ) 日本旅行による名古屋での野菜販売 26,770 円

(ウ) いいよん！四日市フェスティバル出展 64,000 円

(4) 山辺店舗群実証実験

ア MobileHUTTE(ダイハツ工業との連携開発による軽トラ用の屋台)企画進行管理
試験車両の管理

(ア) 車両運用課題等のフィードバック（市及びダイハツ工業）

(イ) 新規車両開発ディレクション（ヨーロピアン、和モダンの 2 台）

(ウ) 車両修繕作業（塗装、干渉部分の微調整などの軽微な作業）

イ 実証実験

(ア) 出店先

星が丘テラス、多気 VISON

(イ) 出店したイベント

世界フェアトレードデーなごや 2021(名古屋)、INABE SDGs 4T PROJECT(市内)、トヨタ車体 INATY マルシェ(市内)、東別院暮らしの朝市(名古屋)、豊田市美術

館（愛知）、なやばし夜イチ（名古屋）、イオンモール東員プロモーション展示（県内）、フェアトレードデイ垂井（岐阜）、平群マルシェ（奈良）、わんてらす（市内）、山辺アクティビティ未来体験（市内）、オンセブンデイズ四日市日永（県内）、29マーケット（県内）等

(5) サイクルツーリズム支援

ア サイクルラック保守（ウェブサイトの情報更新も実施）

市内サイクルラック、サイクルスポットの状況 60か所、新規設置 9か所

イ Eバイクによる拠点間移動実証実験

市内拠点間移動の実証日 令和3年6月14日、参加 青川峡キャンピングパーク 3名、JTB 1名

3 まちづくり事業

(1) まちづくり会議

ア 会議、イベント（）内の数は、参加者数

(ア) にぎわいの森意見交換会（8人）

(イ) にぎわいの森意見交換会（6人）

(ウ) 妄想会議 in 農業公園（17人）

(エ) Inabe Green Lab.（シンポジウム参加者22人、体験イベント参加者9人、森の中の図書館参加者40人、写真展応募者47人）

イ 人材発掘・育成研修（）内の数は、参加者数

(ア) いなべ市校長会議SDGsとまちづくり研修（35人）

(イ) 環境学習地域リーダー養成講座（24人）

(ウ) いなべふくし塾（150人）

(2) 各テーマに沿った媒体制作

ア タブロイド紙「inabe NOWTO」の制作 3回発行

令和3年7月号特集「三岐鉄道」、「市議会」等、令和3年11月号「いなべの自然とは」等、令和4年3月号特集「ようこそクリエイティブが生まれるまちへ」、「こども記者くらぶ」等

イ 新規キーパーソン、クリエイターとの協働

上記タブロイド紙の制作に6名が参画。

4 新規受託事業

(1) 野遊びSDGs広報業務

ア 外国人旅行者をターゲットとした記事の掲載

旅行ガイド「Petit Fute」 110,000部 3月発行（Web版にも記事を掲載）

イ 欧州等旅行会社への情報発信

(ア) TUI FRANCE社

(イ) Belle Planete社

(ウ) VISTA 社

ウ 外国人旅行者をはじめとする本市への来訪者をターゲットとした広報冊子の作成
「いなべ、暮らしを旅する 2022」 英語版 1,000 部、フランス語版 2,000 部、日
本語版 7,000 部

(2) 野遊び SDGs 旅行商品造成業務

ア 体験コンテンツを活かした旅行商品の造成 2 件

(ア) 地域の事業者と連携したモデルコースを造成

(イ) オンラインモニターツアーを実施

a 開催日 令和 4 年 2 月 26 日

b 会場 竜のコバ (宇賀溪)

c 特設会場 (オンライン参加者が集合)

d 参加者 黄亮喩 (台湾)、ジャンジャリヤーパーポーン (タイ)、陳ナツキ (台
湾)、Thomas BUCHER (フランス) ※いずれも欧州を相手にビジネスをする方で、
知見を有する者

イ 体験コンテンツ等の情報収集及び提供ができるホームページの構築
オンライン決済機能の追加、旅行商品販売のための機能追加

5 受賞歴

(1) 第 12 回地域再生大賞 優秀賞

(2) 地方創生☆政策アイデアコンテスト 2020 優秀賞

(3) 第 8 回環境省グッドライフアワード実行委員会特別賞、SDGs ビジネス賞

令和3年度収支決算書

令和3年4月1日から
令和4年3月31日まで

<収入の部>

(単位：円)

科目	当年度	前年度	前年度との比較	備考
業務受託収入	53,566,149	32,444,000	21,122,149	11月野遊び関連の新規受託事業による増
補助金収入	12,000,000	12,262,095	△ 262,095	いなべ市
ショップ収入	11,000,480	1,637,720	9,362,760	小売事業拡大による増
受講料収入	323,150		323,150	イベント受講料
雑収入	80,603	6,332	74,271	利息、視察資料
収入合計	76,970,382	46,350,147	30,620,235	
前年度繰越金	1,927,430			
合計	78,897,812	46,350,147	32,547,665	

<支出の部>

科目	当年度	前年度	前年度との比較	備考
商品仕入	9,489,970	1,225,062	8,264,908	小売事業拡大による増
広告宣伝費	24,071,783	9,403,797	14,667,986	11月野遊びSDGs広報事業による増
荷造運賃	31,060		31,060	配送料
給与手当	12,098,022	4,930,335	7,167,687	事業拡大にともなう人員増
賞与	1,553,530	465,630	1,087,900	同上
外注費	6,950,293	6,762,283	188,010	施設管理、シビックコア清掃
法定福利費	3,692,032	2,599,597	1,092,435	厚生年金、健康保険、雇用保険、市職員負担金
減価償却費	1,671,271	459,065	1,212,206	キッチンカー制作、冷蔵ショーケース
修繕費	154,352		154,352	ショップ雨樋修繕
レンタル費	20,052	659,300	△ 639,248	MobileHUTTE荷箱無償化により減
消耗品費	2,362,685	5,826,291	△ 3,463,606	事務所を開設した初年度より減
水道光熱費	3,852		3,852	イベント用灯油
旅費交通費	1,134,403	543,260	591,143	通勤手当、出張旅費
租税公課	63,444	75,450	△ 12,006	償却資産税、印紙
交際接待費	54,576	18,887	35,689	講師謝礼等
保険料	361,340	33,480	327,860	事業活動包括保険、中退共掛金
通信費	680,172	694,607	△ 14,435	電話、切手
諸会費	251,961	23,000	228,961	観光協会(負担金含む)、商工会
車両関係費	281,073	26,172	254,901	ガソリン代
貸倒繰入額	101,738		101,738	
リース料	3,145,450	2,114,750	1,030,700	軽トラリース(昨年度途中契約)
報酬料金	1,247,510	1,167,000	80,510	会計士顧問料、アドバイザー料
研修費	69,774	28,800	40,974	視察等
雑費	295,137	203,651	91,486	
修繕引当金繰入	3,000,000	4,800,000	△ 1,800,000	
法人税住民税及び事業税	1,318,200	2,362,300	△ 1,044,100	
予備費			0	
支出合計	74,103,680	44,422,717	29,680,963	
期末繰越利益剰余金(繰越金)	4,794,132	1,927,430	2,866,702	
支出計	78,897,812	46,350,147	32,547,665	

損 益 計 算 書

令和3年4月1日 から
令和4年3月31日 まで

(単位 円)

科 目	金 額	
【 純 売 上 高 】		
業務受託収入	53,566,149	
補助金収入	12,000,000	
ショップ収入	11,000,480	
受講料収入	323,150	76,889,779
【 売 上 原 価 】		
期首棚卸高	98,932	
商品仕入高	10,540,859	
合 計	(10,639,791)	
期末棚卸高	1,149,821	9,489,970
売 上 総 利 益		(67,399,809)
【販売費及び一般管理費】		
広告宣伝費	24,071,783	
荷造運賃	31,060	
給与手当	12,098,022	
賞与	1,553,530	
外注費	6,950,293	
法定福利費	3,692,032	
減価償却費	1,671,271	
修繕費	154,352	
レンタル費	20,052	
消耗品費	2,362,685	
水道光熱費	3,852	
旅費交通費	1,134,403	
租税公課	63,444	
交際接待費	54,576	
保険料	361,340	
通信費	680,172	
諸会費	251,961	
車両関係費	281,073	
貸倒繰入額	101,738	
リース料	3,145,450	
雑費	295,137	
研修費	69,774	
報酬料金	1,247,510	
修繕引当金繰入	3,000,000	63,295,510
営 業 利 益		(4,104,299)
【 営 業 外 収 益 】		
受取利息	193	
雑収入	80,410	80,603
経 常 利 益		(4,184,902)
税引前当期純利益		(4,184,902)
法人税、住民税及び事業税		1,318,200
当 期 純 利 益		(2,866,702)

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 23,912,200】	【流動負債】	【 3,477,472】
現金及び預金	5,266,896	買掛金	548,140
売掛金	16,934,471	未払費用	1,115,466
商品	31,121	預り金	1,676,566
貯蔵品	1,118,700	法人税等充当金	137,300
前払費用	640,750		
未収入金	22,000		
貸倒引当金	△ 101,738	【引当金】	【 7,800,000】
【固定資産】	【 2,159,404】	修繕引当金	7,800,000
(有形固定資産)	(2,009,404)		
車輻運搬具	1,334,155	負債の部合計	11,277,472
工具器具備品	675,249	純資産の部	
(投資その他の資産)	(150,000)	【株主資本】	【 14,794,132】
保証金	150,000	(資本金)	(10,000,000)
		基金	10,000,000
		(利益剰余金)	(4,794,132)
		繰越利益剰余金	4,794,132
		純資産の部合計	14,794,132
資産の部合計	26,071,604	負債及び純資産の部合計	26,071,604

令和4年度事業計画書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

いなべ市は現在、市内回遊促進、農業・商業振興、生業支援、移住促進、市民協働促進、持続可能なまちづくりといった課題に直面しています。これらの多様な行政課題を理解し、各行政部門と連携可能な公共性の側面と、スピードと柔軟性をベースに広く市民感覚と顧客視線を取り入れる企業性の側面を併せ持つまちづくり事業に取り組み、グリーンクリエイティブいなべを理念としたまちづくりを推進します。

依然として新型コロナウイルス感染症の影響は色濃いものの、従来のにぎわいや交流は徐々に回復の兆しがみられます。今年度は、にぎわいの森での催事及び企画を加速し、当施設が本来担う「まちづくりの核」としての機能を発揮します。

また、“山辺”エリアの施設整備というチャンスを活かし、地域の魅力を感じられる商材の開発、旅行商品の造成及び受入体制構築に取り組み、地域と共に稼ぐ仕組みを作ること、法人としても成長し、持続可能な体制構築を目指します。

1 ファシリティマネジメント事業

“にぎわいの森”を含む庁舎周辺施設の環境を良好な状態に保持するとともに、各テナントとの連携調整、利用者のニーズ把握、課題解決に取り組むことで利用者の満足度向上につなげます。

コロナ対策を十分に考慮しつつも、市民、事業者、団体等と連携し、施設の利活用促進を図ります。毎週定期的に開催する日曜マルシェ、野菜販売、にぎわいの森内の拠点 inabe's Shop、地域資源を活かした体験などの提供により、来場者にいなべの魅力を伝えると共に、より一層地域住民に開かれた施設運営に努めます。

(1) 庁舎周辺管理業務

- ア 庁舎周辺植栽管理、清掃管理等
- イ シビックコア棟清掃
- ウ マネジメント業務

(2) にぎわいの創出

- ア 日曜マルシェの安定開催
- イ 体験型ワークショップの開催
- ウ 地域連携型イベントの開催
- エ にぎわいの森ウェブサイト、SNS 等での情報発信

(3) inabe's shop 及び情報発信コーナー「31スタジオ」の運営

- ア 地域商材の紹介と販売
- イ 市内の情報収集及び発信

(4) 施設の経済波及効果測定

2 地域商社事業

分野の異なる地域資源や人などをつなぎ、来訪者の地域回遊を促進するなど、新たな交流と人の流れを創出します。特に、今年度は山辺エリアに開業する施設への集客を活かすため、地域を巻き込んだ旅行商品の造成と受入体制づくりに取り組みます。

にぎわいの森店舗と連携し、地域産品に付加価値を付け都市住民に売り込みます。商品そのものの価値だけに留まらず、各生産者の想いを付加することで物語のある商材として提供します。

(1) 地域回遊イベント・企画の実施

- ア にぎわいの森から地域回遊を促すイベント・企画を実施
- イ いなべ市サイクルツーリズムの支援
- ウ 上記を効果的に集客するための都市部でのイベント出展

(2) 旅行商品の造成・受入体制の構築

- ア 着地型ツアー商品の開発
- イ 販売及び事業の実施
- ウ 受入体制の構築（インバウンド対策含む）

(3) 地域資源を活かした商品開発・販路開拓

- ア にぎわいの森店舗や地域の事業者と連携した商品開発
- イ 行政が持つコネクションを活かした販路開拓
- ウ にぎわいの森内での試験的な販売

(4) 山辺店舗群実証実験

MobileHUTTE(ダイハツ工業との連携開発による軽トラ用の屋台)を利用した実証実験

3 まちづくり事業

子育てや世代間交流など、地域課題の解決につながる事業を実施します。将来のまちづくりを担う人材の発掘及び育成を目的に、活躍の場の創出や学びの機会を得るための企画を実施します。

当社団がディレクションを行い、発掘した人々に焦点を当て、紙媒体やWeb等といった幅広いメディアを利用しつつも、統一された世界観を持って情報発信を行います。

(1) 生業、移住、子育てなどをテーマとしたイベント、企画の実施

- ア まちづくり会議の開催（妄想会議、構想会議）
- イ 学びの機会となる講座やイベント、体験型ワークショップの開催

(2) 各テーマに沿った媒体制作

- ア タブロイド紙「inabe NOWTO」の製作
- イ まちづくりのポータルサイトの運営

(3) まちづくりの調査・研究

- ア まちづくりに関する情報の収集及び研究
- イ 人材育成のための研修

令和4年度収支予算書

<収入の部>

(単位 千円)

科目	本年度	前年度	比較	備考
業務受託収入	63,946	37,500	26,446	野遊び関連事業受託による増
補助金収入	16,000	12,000	4,000	環境省補助事業採択による増
ショップ収入	12,000	3,600	8,400	小売事業拡大による増
受講料収入	0		0	
雑収入	100	10	90	利息、視察資料
収入合計	92,046	53,110	38,936	
前年度繰越金	4,794	1,927	2,867	
合計	96,840	55,037	41,803	

<支出の部>

科目	本年度	前年度	比較	備考
商品仕入	10,800	3,000	7,800	小売事業拡大による増
広告宣伝費	25,000	10,000	15,000	野遊び関連事業受託による増
荷造運賃	50		50	配送料
給与手当	15,844	10,660	5,184	事業拡大に伴う人員増
賞与	3,100	2,000	1,100	同上
外注費	15,300	5,800	9,500	施設管理、シビックコア清掃に加え、野遊び関連事業受託による増
法定福利費	4,099	3,700	399	厚生年金、健康保険、雇用保険、市職員負担金
減価償却費	1,700	460	1,240	キッチンカー制作、冷蔵ショーケース
修繕費	200		200	
レンタル費	110	1,320	△ 1,210	MobileHutte
消耗品費	2,730	5,000	△ 2,270	
水道光熱費	0		0	
旅費交通費	1,395	600	795	通勤手当、出張旅費
租税公課	80	120	△ 40	償却資産税、印紙
交際接待費	1,215	100	1,115	観光省補助事業に係る講師謝礼
保険料	480	50	430	事業活動包括保険、中退共掛金
通信費	700	700	0	電話、切手
諸会費	30	30	0	観光協会、商工会
車両関係費	300	120	180	ガソリン代
貸倒繰入額	100		100	
リース料	3,200	3,200	0	軽トラリース
報酬料金	1,300	1,200	100	会計士顧問料、アドバイザー料
研修費	500	50	450	視察等
雑費	317	200	117	
修繕引当金繰入	3,000	4,200	△ 1,200	
法人税住民税及び事業税、消費税	5,000	2,500	2,500	
予備費	290	27	263	
支出合計	96,840	55,037	41,803	
期末繰越利益剰余金（繰越金）	0	0	0	
計	96,840	55,037	41,803	

